

1. 計画策定趣旨

・社会的背景

水道事業は、近年、少子高齢化や節水意識の高揚、食生活の変化などによる水道使用水量の減少傾向から厳しい経営環境下にあり、このような社会環境の変化に対応した効率的な経営が求められています。

本市にあっては、経営健全化に向け、人員削減のほか経費の削減に努めていますが、更なる経営の健全化・効率化等への取り組みが求められています。

・川西市水道事業の現状と課題

近年の節水機器の普及、少子高齢化、核家族化、景気の低迷など社会的要因により1人1日当たり配水量は、年々低下しています。また、住宅建設も減少傾向を示し、そのため水道事業の根幹である給水収益が落ち込み、平成11年度以降、連続して赤字決算を余儀なくされてきました。

そこで、平成16年2月に川西市水道事業経営審議会を設置し、本市水道事業経営についてを諮問、同年8月に水道料金の速やかな改定、危機管理対策等への取り組みを主とする答申を得ました。

この答申を受け、同年12月市議会に平成17年4月1日からの水道料金、口径別分担金及び工事手数料改定議案を上程し、可決されたところです。

これにより、水道事業の健全な財政基盤の確立・財政の安定化及び今後における水道施設の維持・拡充、耐震化を計画的に遂行し、安全・安心・安定した水供給を行う必要があります。